

## 西アジア考古学関連学術論文・出版物 (2011年1月～12月)

日本の研究者による西アジア考古学関連の出版物について、おもに会員の皆様から寄せられた情報にもとづいて作成しております。

『西アジア考古学』13号編集委員会

- Akashi, C. 2011.3 The Subsistence and the Plant Use in Tell Ghanem al-Ali: Early Bronze Age Syria. *Al-Rāfidān* 32: 105-110.
- Adachi, T. 2010 Considering the Neo-Assyrian Influence on Ceramic Bowls in the Iron Age Levant. *Bulletin of Ancient Orient Museum* 29-30: 33-78.
- 有松 唯 2011.3 「遺跡分布から見たイラン北部山岳地帯における鉄器時代居住形態の分析」『オリエンテ』53巻2号 1-33頁。
- 石田恵子 2010 「テル・ルメイラ出土の家形模型について (2)」*Bulletin of Ancient Orient Museum* 29-30: 1-32.
- 石田恵子 2011.2 「友の会講演録：古代地中海のワイン」『ORIENTE』42号 6-11頁 古代オリエンテ博物館。
- 泉 拓良・辻村純代・前野弘志 2011.3 「フェニキア・ヘレニズム～ローマ時代の墓制の研究 —レバノン、ラマリ遺跡ローマ時代地下墓 TJ10 の発掘調査 2010」『考古学が語る古代オリエンテ 第18回西アジア発掘調査報告会報告集』130-135頁 日本西アジア考古学会。
- 泉 拓良・辻村純代・小方 登・佐藤育子・奥山広規・前野弘志 2011.3 『フェニキア・カルタゴ考古学から見た古代の東地中海 2009・2010年度』24頁 京都大学文学研究科。
- 泉 拓良・辻村純代・前野弘志 2011.6 「レバノン共和国ティール市近郊ラマリ遺跡ローマ時代地下墓の発掘調査」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』79頁 日本西アジア考古学会。
- 泉 拓良 2011.6 「京都大学所蔵エジプト考古学資料展 (仮題)」『京都大学総合博物館ニュースレター』No.25 2-3頁。
- 泉 拓良 2011.11 「濱田耕作」中野智章 (監修) 『京都大学総合博物館開館10周年記念企画展図録 埃及考古—ベトリ—と濱田が京大エジプト資料に託した夢—』9頁。
- 泉 拓良 2011.11 「ベトリ—が濱田に伝えた考古学の研究法」中野智章 (監修) 『京都大学総合博物館開館10周年記念企画展図録 埃及考古—ベトリ—と濱田が京大エジプト資料に託した夢—』40-41頁。
- 板橋 悠・常木 晃・米田 穰 2011.6 「同位体化学分析による西アジア先史時代埋葬人骨の食性と年代」『日本文化財科学会第28回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会。
- 伊藤伸幸 2011.2 「友の会講演録：マヤへの道」『ORIENTE』42号 12-17頁 古代オリエンテ博物館。
- Vezzoli, V. 2011.3 Preliminary Considerations on Ceramic Productions of the Islamic Period from the Middle Orontes Region: A Representative Assemblage from Apamea. *Al-Rāfidān* 32: 258-275.
- 遠藤 仁・小磯 学 2011 「インド共和国グジャラート州カンバートにおける紅玉髓製ビーズ生産：研究序説」『東洋文化研究所紀要』160冊 261-297頁。
- Ohnuma, K. (ed.) 2011.3 Preliminary Reports of the Syria-Japan Archaeological Joint Research in the Region of Ar-Raqqa, Syria, 2010 Syria-Japan Archaeological Joint Mission in the Bishri Region. *Al-Rāfidān* 32: 119-213.
- 小口 高・近藤康久 2011.5 「インターネット GIS を用いた人類進化と気候変動に関する情報の発信」『日本地球惑星科学連合2011年大会要旨集』[http://www2.jpгу.org/meeting/2011/yokou/BPT025\\_06.pdf](http://www2.jpгу.org/meeting/2011/yokou/BPT025_06.pdf).
- 門脇誠二 2011.3 「南レヴァントの後期新石器集落における空間アクセスの分析と世帯間関係の考察—タバクト・アル＝ブーマの遺跡構造研究から—」『西アジア考古学』12号 1-13頁 日本西アジア考古学会。
- 門脇誠二 2011.7 「大地にさぐる人類史」『Field +』6号 18-19頁 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。
- 門脇誠二・ファルハド キリエフ・久米正吾・下釜和也・赤司千恵・西秋良宏 2011.3 「南コーカサス地方の新石器時代—ギョイテベ遺跡の第3次発掘調査 (2010年)—」『考古学が語る古代オリエンテ 第18回西アジア発掘調査報告会報告集』53-59頁 日本西アジア考古学会。
- 門脇誠二・ファルハド キリエフ・久米正吾・下釜和也・赤司千恵・西秋良宏 2011.6 「南コーカサス地方の新石器時代 —ギョイテベ遺跡の第3次発掘調査 (2010年)—」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』76頁 日本西アジア考古学会。
- 門脇誠二・久米正吾 2011.12 「ユーフラテス河中流域における青銅器時代の葬制」『日西アジア考古学フォーラム 古代の葬制』16-22頁 日本西アジア考古学会。
- 門脇誠二・久米正吾・下釜和也・西秋良宏 2011.11 「ユーフラテス川中流域の先史遺跡：第五次踏査報告」『日本オリエンテ学会第53回大会大会案内・要旨集』74頁 日本オリエンテ学会。
- 禿 仁志 2011.3 「パローチスターン・メヘルガル遺跡の年代について (再論)」『東海史学』45号 37-48頁 東海大学史学会。
- Kamuro, H. 2011.3 *Dyadovo Excavation 2010 -Initial Report-*. Dyadovo Initial Report Series 5 (DIRS 5), 1-10. Tokai University Thracian Expedition, Hiratsuka.
- 河合 望・馬場匡浩 2011.3 「ABUSIR AND SAQQARA IN THE YEAR 2010 参加報告」『エジプト学研究』第17号 200-209頁 早稲田大学エジプト学会。
- 河合 望 2011.3 「アクエンアテン王の後継者をめぐって」『オリエンテ』53巻2号 180頁。
- 河合 望 2011.8 「葬制から探る古代エジプト第2中間期末から新王国時代初期の社会様相の一側面—アブ・シール南丘陵遺跡の集団埋葬を中心として—」『古代』125号 69-96頁 早稲田大学考古学会。
- Kawai, N. 2011.8 An Early Cult Centre at Abusir-Saqqara? Recent Discoveries at a Rocky Outcrop in North-West Saqqara. In R. F. Freedman and P. N. Fiske (eds.), *Egypt at its Origins 3: Proceedings of the Third International Conference "Origin of the State. Predynastic and Early Dynastic Egypt"* London, 27th July-1st August 2008, 801-830, Leuven: Peeters.
- Clayden, T. 2011. 3 The Nippur Hoard. *Al-Rāfidān* 32: 1-56.

- 久米正吾 2011.6「青銅器時代ユーフラテス河流域の人口動向」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』44-49頁 日本西アジア考古学会。
- 久米正吾 2011.11「前・中期青銅器時代ユーフラテス河中流域の都市化と遊牧化」『日本オリエント学会第53回大会大会案内・要旨集』24頁 日本オリエント学会。
- Kume, S., A. Sultan, I. Ono and C. Akashi 2011.3 Sondage at Early Bronze Age Cemetery near Tell Ghanem al-Ali. In K. Ohnuma and A. Sultan (eds.), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the 15th Working Season. Al-Rāfidān* 32: 163-170.
- 久米正吾・小野 勇・赤司千恵・大沼克彦 2011.3「ユーフラテス川流域の古代墓を探る—シリア、ビシュリ山系ガーネム・アル・アリ遺跡近郊墓域の第5次調査(2010年)—」『考古学が語る古代オリエント 第18回西アジア発掘調査報告会報告集』68-74頁 日本西アジア考古学会。
- 久米正吾・小野 勇・赤司千恵・大沼克彦 2011.6「ユーフラテス川流域の古代墓を探る—シリア、ビシュリ山系ガーネム・アル・アリ遺跡近郊墓域の第5次調査(2010年)—」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』77頁 日本西アジア考古学会。
- クレスイミル レシユタコフ(著)・千本真生(訳) 2011.3「上トラキア平野の青銅器時代(2)」『東海史学』45号 69-93頁。
- Гергова, Д., Камуро, X., Кънчев, K., Кънчева-Русева, Т., Геонов, Д., Дерменджиев, Н., Джамбазов, С., Малинов, О., Мияхара, Ш., Ватанабе, X., Шибата, Т., Дои, Ю, Семмото, М. и Сано, М. 2011 Проучвания на селищната могила Дядово през 2010 г. *Археологически Открития и Разкопки през 2010 г.* pp. 105-107. Българската Академия на Нуките Национален Археологически Институт с Музей.
- 小泉龍人 2011.1「古代西アジアの情報伝達—都市におけるコミュニケーション・ツール」『西アジアにおける教育の起源と展開』第11回日本西アジア考古学会公開セミナー要旨集 4-12頁 日本西アジア考古学会。
- 小泉龍人 2011.10「古代に出会える華麗な異次元空間」『週刊世界の博物館9:ルーヴル美術館II』32頁 朝日新聞社。
- 小泉龍人 2011.11「知の殿堂で触れる考古学の黎明」『週刊世界の博物館18:大英博物館III』32頁 朝日新聞社。
- 小茄子川歩 2011.3「一角獣が刻まれたインダス式印章—岡山市立オリエント美術館所蔵資料の紹介—」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』25巻 1-14頁。
- 紺谷亮一・K. エムレ・F. クラックオウル・須藤寛史・山口雄治・早川裕式 2011.3「トルコ共和国カイセリ県一般調査(KAYAP)概報—第3次調査(2010年)と過去3シーズンのまとめ—」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』第25巻 15-29頁。
- 紺谷亮一・K. エムレ・F. クラックオウル・須藤寛史・早川裕式・山口雄治 2011.3「ヒッタイト文化の起源を探る—トルコ共和国カイセリ県一般調査(KAYAP)第3次調査(2010年)—」『考古学が語る古代オリエント 第18回西アジア発掘調査報告会報告集』94-99頁 日本西アジア考古学会。
- 近藤康久 2011.6「オマーン・パート遺跡群カスル・アル・スレメ地点の岩面陰刻について」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』9-14頁 日本西アジア考古学会。
- 近藤康久 2011.10「人文フィールドGISの現在・未来:考古学の視点から」『地理情報システム学会講演論文集』20:A-2-1.
- 近藤康久 2011.11「地理情報システムと高精度センシング技術の活用によるオマーン青銅器時代墳墓群の空間構造の解明」財団法人高梨学術奨励基金編『平成22年度研究成果概要報告』93-100頁。
- 近藤康久・小口 高 2011.11「予測モデリングとWebGISによる考古・年代・古環境データの統合と解析」『第65回日本人類学会大会プログラム・抄録集』116頁。
- 近藤康久・小口 高 2011.12「インターネットGISによる考古・年代・古環境情報の統合と生態ニッチモデリングによる存在予測手法の検討」田邊宏樹(編)『科学研究費補助金(新学術領域研究)「ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相:学習能力の進化に基づく実証的研究」第4回研究大会』109-111頁。
- 近藤康久・門脇誠二・西秋良宏 2011.6「『旧人・新人交替劇』関連遺跡・石器製作伝統データベースの構築」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』73頁 日本西アジア考古学会。
- 齋藤久美子 2011.3「可視化された女性の劣位:古代エジプト美術に見るジェンダー」『エジプト学研究』17号 89-98頁。
- 佐々木達夫 2011.9「平安京の貴族はイスラーム陶器を見たか」『土車』122号 2頁。
- 佐々木達夫 2011.1「アラビア半島 未知の歴史・文化」読売新聞夕刊(2011年1月27日)。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2011.2「奈良出土青緑釉陶器瓶の産地・流通・ルート・用途・内容物・価値」『金沢大学考古学紀要』32号 13-17頁。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2011.3「オマーン湾の港町を掘る—アラブ首長国連邦ディバ遺跡第4次調査(2010年)」『考古学が語る古代オリエント 第18回西アジア発掘調査報告会報告集』136-140頁 日本西アジア考古学会。
- Sasaki, T. and H. Sasaki 2011.2 Excavations at A' Ali Islamic site. *Bulletin of Archaeology* 32: 18-46. The University of Kanazawa.
- 佐々木達夫・佐々木花江・E. A. H. Yusef 2011.9「砂漠の遺跡踏査 Al Madam 2011」『金大考古』71号 35-42頁。
- 佐々木花江・佐々木達夫 2011.12「博多・奈良・京都のイスラーム陶器」『第18回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』152-163頁。
- 佐藤育子 2010「紀元前一千年紀におけるフェニキアの海外発展—宗教的側面を中心に—」*Bulletin of Ancient Orient Museum* 29/30: 65-78.
- Siegelova, J. and H. Tsumoto 2011 Metals and Metallurgy in Hittite Anatolia. In H. Genz and D. P. Mielke (eds), *Insights into Hittite History and Archaeology. Special Issues for Ancient West and East*, 275-300, Leuven, Peeters.
- 下釜和也 2011.2「アゼルバイジャン発掘見聞記」『ORIENTE』42号 22-26頁 古代オリエント博物館。
- ジャニス カムリン(著)・齋藤久美子(訳) 2011.1『古代エジプトのヒエログリフ初級実践ガイド』文車書院。
- Shaddoud, I. 2011.3 Céramiques d'époque fatimide à Damas -fouilles à la citadelle et à Bab Kissan. *Al-Rāfidān* 32: 246-257.
- Simpson, J. 2011.3 Analysing the Recent Past: The Archaeology of Death, Pastoralism, Pots and Pipes in The Ottoman Jazira and Beyond. *Al-Rāfidān* 32: 57-104.
- 杉本智俊 2011.9「エン・ゲヴ遺跡出土の宗教的モチーフが描かれた印章」『オリエント』54巻1号 43-58頁。
- 鈴木瑞穂・関廣尚世 2011.11「メロエ遺跡表採鉄滓および塊状鉄鉱石の分析結果」『たたら研究会 平成23年度北九州大会—韓国における鉄生産—(要旨集)』1-4頁 たたら研究会。
- 須藤寛史 2011.5『印章に描かれた古代オリエントの世界』岡山市立オリエント美術館。
- 関廣尚世 2011.9「世界遺産のうまれた理由(ワケ)」『石見銀山世界遺産センター 第12回公開講座 講座資料』鳥根県石見銀山世界遺産センター。
- 関廣尚世・村治笠子 2011.6「スーダン共和国カジュバル地域にお

- る踏査成果と今後の課題』『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』27-30頁 日本西アジア考古学会。
- 関廣尚世・村治笙子 2011.11「カジュバルダム水没危機遺跡群の踏査成果と今後の課題」『日本オリエント学会第53回大会要旨集』日本オリエント学会。
- 関廣尚世・村治笙子 2011.11「スーダン共和国における彩色壁画について」『日本オリエント学会第53回大会要旨集』日本オリエント学会。
- 千本真生 2011.6「バルカン半島の新石器化について—彩文土器の検討を中心に—」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』31-37頁 日本西アジア考古学会。
- 草原考古研究会編(川又正智・高濱秀・諫早直人・畠山禎・柳生俊樹・雪嶋宏一・S.V. デミデンコ・林俊雄著・近藤さおり訳) 2011.10『鍔の研究—ユーラシア草原の祭器・什器』雄山閣。
- 田澤恵子 2011.8「古代エジプトで崇拝された異郷の神々」『ORIENTE』43号 13-19頁 古代オリエント博物館。
- 田澤恵子 2011.11「エジプト西方砂漠ハルガ・オアシス アル・ザヤーン神殿遺跡の調査—神殿装飾からのアプローチ—」『日本オリエント学会第53回大会 大会案内・要旨集』40頁。
- Tazawa, K. 2011.8 *Astarte in New Kingdom Egypt: Reconsideration of her Role and Function. International Conference on Ishtar/Astarte/Aphrodite: Transformation of a Goddess.* Keio University, 25-26 August 2011. Presentation Texts, 109-120.
- Tadmor, H. and S. Yamada 2011.11 *The Royal Inscriptions of Tiglath-pileser III (744-727 BC) and Shalmaneser V (726-722 BC), Kings of Assyria (The Royal Inscriptions of the Neo-Assyrian Period, vol. 1).* Winona Lake, Indiana: Eisenbrauns.
- 谷一尚 2011.1「サーサーン朝ペルシア・ガラスの「直」(中国・東方流入)と「風」(中国・東方化)」『東西交渉とイラン文化』162-168頁 勉誠出版。
- 谷一尚 2011.6「1. 世界の切子 古代・中世(アッシリア/アケメネス朝ペルシア/ヘレニズム/ローマ/ササン朝ペルシアと中央アジア/イスラム)」『世界の切子ガラス』3-63頁 里文出版。
- 谷一尚 2011.6「4. 切子の技法(カット、カッティング—切削/エングレイヴ、エングレイヴィング—彫削/エッチ、エッチング(喰削))」『世界の切子ガラス』81-94頁 里文出版。
- 田辺理 2010「ガンダーラ美術に見られる古代ギリシアの手の仕草—類に手を触れる仕草をめぐって—」*Bulletin of Ancient Orient Museum* 29-30: 137-162.
- 田辺勝美 2010「ガンダーラ美術の図像学的研究(4): 成道後の釈尊の安楽座像と新出カーピシー派彫刻の制作年代」*Bulletin of Ancient Orient Museum* 29-30: 83-136.
- 月本昭男(監修)・長谷川修一(著) 2011.9『ヴィジュアルBOOK 旧約聖書の世界と時代』日本キリスト教団出版局。
- Tsukimoto, A., H. Kuwabara, Y. Paz and S. Hasegawa 2011.5 *Tel Rekhesh 2009: Preliminary Report. Hadashot Arkheologiyot* 123.
- 筑波大学・シリア文化財博物館総局テル・エル・ケルク合同調査団(編) 2011.2『ケルク新石器時代墓地にみる生と死』筑波大学人文社会科学部歴史学・人類学専攻先史学・考古学コース。
- 常木晃 2011.3「新石器時代の巨大集落—シリア、テル・エル・ケルク遺跡の2010年度調査—」『考古学が語る古代オリエント2010』30-34頁 日本西アジア考古学会。
- 常木晃 2011.3「口絵1解説: テル・エル・ケルク出土の連続人物像が描かれた彩文土器片」『筑波大学先史学・考古学研究』22号。
- 常木晃 2011.8「西アジア新石器時代人の生と死: 最新の筑波大学シリア国ケルク遺跡発掘調査より」『ORIENTE』43号 5-12頁 古代オリエント博物館。
- 常木晃 2011.9「高校地理・歴史科教育における考古学・人類学の役割」『学術の動向』2011年10月号 48-51頁 財団法人日本学術協力財団。
- 常木晃 2011.10「歴史認識と考古学」『学術の動向』2011年10月号 財団法人日本学術協力財団。
- Tsuneki, A. 2011.11 *A Glimpse of Human Life from the Neolithic Cemetery at Tell el-Kerkh, Northwest Syria. Documenta Praehistorica* 38: 83-95. Univerza v Ljubljani, Slovenia.
- Tsuneki, A. and J. Hydar 2011.9 *Tell el-Kerkh 2009. Chronique Archéologique en Syrie: Volume 5, 2010.* pp. 69-78. The Directorate General of Antiquities and Museums, Syria.
- 常木晃・長谷川敦章 2011.6「新石器時代の巨大集落—シリア、テル・エル・ケルク遺跡2010年度発掘調査—」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会発表要旨集』75頁 日本西アジア考古学会。
- Tsuneki, A., A. Hasegawa and A. Sultan 2011 *Archaeological Research in the Bishri Region—Report of the Eighth Working Season—: 5. Sondage and Surface Research at Tell Ghanem al-Ali. Al-Rāfidān* 32: 181-189.
- 津村眞輝子 2011.2「新収蔵品紹介: リュディアのエレクトラム貨」『ORIENTE』42号 2-5頁 古代オリエント博物館。
- 津村眞輝子 2011.8「「栄光のペルシア」展開催記」『ORIENTE』43号 20-21頁 古代オリエント博物館。
- 津本英利 2010「テル・マストゥーマ遺跡(シリア北西部)におけるアケメネス朝ペルシア時代—0層出土遺物と遺構の性格について—」*Bulletin of Ancient Orient Museum* 29-30: 51-64.
- 津本英利 2011.8「新収蔵品紹介 ウラルトゥの土器」『ORIENTE』43号 1-4頁 古代オリエント博物館。
- 天理大学文学部考古学・民族学研究室(編) 2011.7『下ガリラヤの3,000年—イスラエル、テル・レヘシュ遺跡の発掘調査—』天理大学。
- Tuba Ökse, A., A. Görmüş, T. Koizumi, D. Yaşın Meier, N. Soyukaya 2011.5 *Ihsu Barajı-Salat Tepe 2010 Kazısı. 33rd International Symposium of Excavations, Surveys and Archaeometry. Republic of Turkey. General Directorate for Cultural Heritage and Museums of Ministry of Culture and Tourism.* İnönü University in Malatya.
- 中野智章 2011.11「メンフィスとテーベ—古代エジプト社会における神々・王・人間」『CISMOR VOICE』14号 14-15頁 同志社大学一神教学際研究センター。
- 中野智章(監修)・京都大学文学部考古学研究室・京都大学総合博物館(編集) 2011.10『埃及考古』アクティブKEI。
- 中野智章・田澤恵子・古川桂・亀井宏行 2011.3「ローマ人が利用した要衝としての神殿—エジプト西方砂漠ハルガオアシス、アル・ザヤーン神殿遺跡の調査(2010年)—」『考古学が語る古代オリエント第18回西アジア発掘調査報告会報告集』16-21頁 日本西アジア考古学会。
- Nishiaki, Y., M. Abe, S. Kadowaki, S. Kume and H. Nakata 2011.3 *Archaeological Survey around Tell Ghanem al-'Ali (II).* In K. Ohnuma and M. Sarhan (eds.), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the Eighth Working Season. Al-Rāfidān* 32: 189-205.
- Nishiaki, Y., S. Kadowaki, H. Nakata, K. Shimogama and Y. Hayakawa 2011.3 *Archaeological Survey around Tell Ghanem al-'Ali (IV).* In K. Ohnuma and M. Sarhan (eds.), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the Eighth Working Season. Al-Rāfidān* 32: 125-133.
- Haddon, R. A. W. 2011.3 *What is Mamluk Imitation Sultanabad? Al-Rāfidān* 32: 276-293.
- 長谷川敦章 2011.2「古代オリエントにおける埋葬と儀礼」『ケルク新石器時代墓地にみる生と死』33-36頁。
- 長谷川敦章 2011.6「北レヴァント内陸部における東地中海系遺物に

- ついて—テル・エル・ケルク1号丘遺跡を中心に—』『日本西アジア考古学会第16回総会・大会発表要旨集』73頁 日本西アジア考古学会。
- 長谷川敦章 2011.11「紀元前2千年紀後葉のキプロス土器の独自性と流通—古代オリエント博物館所蔵資料の分析を中心に—』『日本オリエント学会第53回大会案内・要旨集』70頁 日本オリエント学会。
- Hasegawa, A. 2011.2 The Burial and Ritual in the Ancient Orient. *Life and Death in the Kerh Neolithic Cemetery*. University of Tsukuba, pp. 33-36.
- Hasegawa, A. 2011 Archaeological Research in the Bishri Region -Report of the Fifteenth Working Season-: II. Sondage at Tell Ghanem al-Ali, Square 7 and 8. *Al-Rāfidān* 32: 158-163.
- 長谷川敦章・飯塚守人・大沼克彦 2011.3「農耕と牧畜のはざまにユーフラテス河中流域の青銅器時代拠点集落—シリア、ビシュリ山系、テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の2010年度発掘調査—』『考古学が語る古代オリエント 第18回西アジア発掘調査報告会報告集』62-67頁 西アジア考古学会。
- 長谷川敦章・大沼克彦 2011.6「ユーフラテス河中流域の青銅器時代拠点集落の発掘調査—テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の集落構造を中心に—』『日本西アジア考古学会第16回総会・大会発表要旨集』77頁 日本西アジア考古学会。
- 長谷川修一 2011.4「聖書と考古学—聖書考古学の限界と考古学からの展望」『聖書学論集』43号 1-18頁。
- Hasegawa, S. 2011.4 Three Stamped Amphora Handles in the Ancient Orient Museum. *Bulletin of Ancient Orient Museum* 29-30: 79-82.
- Hasegawa, S. 2011.7 Tel Rekhesh Excavations 2006-2009. *Sprawozdania Archeologiczne* 62: 413-428.
- Banning, E. B., K. Gibbs and S. Kadowaki 2011.6 Changes in Material Culture at Late Neolithic Tabaqat al-Būma, in Wadi Ziqlab, Northern Jordan. In J. L. Lovell and Y. M. Rowan (eds.), *Culture, Chronology and the Chalcolithic: Theory and Transition*, 36-60. Oxbow Books, Oxford.
- 林俊雄 2011.12「ケルブ(ケルビム) = スフィンクス説について」『第18回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』78-90頁 榎原考古学研究所。
- 春田晴郎 2011.12「東京国立博物館蔵「こぶ牛の銀皿」』『MUSEUM』635号 47-53頁 東京国立博物館。
- 春田晴郎 2011.12「現代カラカルパクスタンの墓」『第18回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』164-169頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会 榎原考古学研究所。
- Healey, E., S. Campbell and O. Maeda 2011 *The State of the Stone: Terminologies, Continuities and Contexts in Near Eastern Lithics*. Studies in Early Near Eastern Production, Subsistence and Environment 13, Berlin, ex oriente.
- François, V. 2011.3 Assemblages de céramiques du début du XV<sup>e</sup> et du XVIII<sup>e</sup> siècles à Damas. *Al-Rāfidān* 32: 294-.
- 藤井純夫 2011.3「シリア・ヨルダンにおける先史遊牧民の遺跡調査」『テキスト文化資源学』20-25頁 金沢大学国際文化資源学研究中心。
- 藤井純夫 2011.5「ヒツジ遊牧の起源：ヨルダン南部ジャフル盆地の調査から」『西アジアの文化遺産—その保護の現状と課題』12頁 東京文化財研究所文化遺産国際協力センター。
- 藤井純夫 2011.11「ヨルダン南部、ジャフル盆地における新石器時代のダム・システム」『日本オリエント学会代53回大会要旨集』19頁 日本オリエント学会。
- 藤井純夫 2011.12「シリア沙漠先史遊牧民の墓制—ケルン墓構築のタイミングとその意味について」『西アジア考古学フォーラム 2011—古代の葬制』8-15頁 西アジア考古学会。
- 藤井純夫 2011.12「新石器時代游牧民のダムとシスターン—西アジア周辺乾燥域の水利史から見た遊牧化の経緯」『文明の形成にみる環境と文化—レヴァント考古学の視点から』2-8頁 早稲田大学高等研究所。
- Fujii, S. 2011.5 'Lost Property' at Wadi Qusayr 173: Evidence for the Transportation of Tabular Scrapers in the Jafr Basin, Southern Jordan. *Levant* 43/1: 1-14.
- Fujii, S. 2010.5 A Comprehensive Review of Neolithic Water Catchment Facilities in the Jafr Basin, Southern Jordan: A Preliminary Report of the Jafr Basin Prehistoric Project, Phase 3, 2009. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 54: 371-386.
- Fujii, S. 2011.7 Chronology of the Jafr Pastoral Prehistory and Protohistory: Current Scheme and Future Perspective. Abstract for Workshop "Present Research on Protohistoric Settlement in Desert Areas of Jordan" Faculty of Archaeology, al-Hussein Bin Talal University, Jordan.
- Fujii, S. 2011.11 Domestication of Runoff Water: Current Evidence and New Perspectives from the Jafr Pastoral Neolithic. *Neo-Lithics* 2/10: 14-32.
- Fujii, S. 2011 'Awja 1-3 and Wadi Nadiya 1: A Neolithic cemetery and a Barrage System in Southern Jordan. *Munjazat* 2011.
- 藤井純夫・足立拓朗 2011.3「シリア、ビシュリ山系の遊牧化過程—ワディ・アル・ハッジャーネ1号遺跡の発掘調査(2010年春)」『考古学が語る古代オリエント第18回西アジア発掘調査報告会報告集』81-86頁 日本西アジア考古学会編。
- 藤井純夫・足立拓朗・長屋憲慶 2011.3「新石器時代ヨルダンの移牧拠点とダム—ワディ・グウェイル17、106号遺跡の緊急発掘調査」『考古学が語る古代オリエント第18回西アジア発掘調査報告会報告集』40-45頁 日本西アジア考古学会。
- Fujii, S., T. Adachi, C. Akashi, and K. Suzuki 2011.3 Wadi al-Hajana 1: A Preliminary Report of the 2010 Excavation Season. In K. Ohnuma and A. Sultan (eds.), *Archaeological Research in the Bishri Region -Report of the Fourteenth Working Season*. *Al-Rāfidān* 32: 134-143.
- 古澤拓郎・大西健夫・近藤康久(編) 2011.10『フィールドワーカーのためのGPS・GPS入門：フィールドにGPSを持っていこうGISで地図を作ろう』古今書院。
- 堀岡晴美 2011.6「初期王朝期都市マリに見られる特殊性—4種のイナンナ/イシュタル神殿」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』54-59頁 日本西アジア考古学会。
- 堀岡晴美 2011.12「マリの『シャルマーティム神殿』に関する諸問題」『第18回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』64-77頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 前田修 2011.1「技術革新と時間—新石器時代における食料生産技術の革新をどう捉えるか—」『日本西アジア考古学会公開シンポジウム 西アジア文明史における技術革新史像の構築』27-30頁 日本西アジア考古学会。
- 前田修 2011.12「Natural or Cultural?—新石器時代の石材利用環境」『早稲田大学高等研究所フォーラム 文明の形成にみる環境と文化—レヴァント考古学の視点から—』12-15頁 早稲田大学高等研究所。
- Maeda, O. 2011 The Social Roles of the Use of Flint and Obsidian Artefacts at Salat Cami Yanı in the Upper Tigris Valley. In E. Healey, S. Campbell, O. Maeda (eds.), *The State of the Stone: Terminologies, Continuities and Contexts in Near Eastern Lithics*. Studies in Early Near Eastern Production, Subsistence and Environment 13, 317-326. Berlin, ex oriente.

- 牧野久実 2011.9 「エン・ゲヴ遺跡出土のヘレニズム土器—2009年度再発掘H地区資料を中心に」『オリエント』54巻1号 158-181頁。
- al-Maqdissi, M. and E. Ishaq 2011.3 Notes d'archéologie Levantine xxxii. Travaux archéologiques à Tell Sefinet Nouh. *Al-Rāfidān* 32: 111-118.
- 増森海笑 D. 2011.2 「死者を飾るビーズ」筑波大学・シリア文化財博物館総局テル・エル・ケルク合同調査団（編）『ケルク新石器時代墓地にみる生と死』筑波大学人文社会科学研究所歴史・人類学専攻先史学・考古学コース 21-24頁。
- 増森海笑 D. 2011.6 「装身具からみた西アジア新石器時代とテル・エル・ケルク遺跡」『日本西アジア考古学会第16回総会・大会要旨集』38-43頁 日本西アジア考古学会。
- 南博史 2011.2 「オルメカヘッド「巨石人頭像」に魅せられて」『ORIENTE』42号 18-21頁 古代オリエント博物館。
- 南澤武蔵 2011.3 「メンフィス・ネクロポリス出土の新王国時代のシャブティ製作に関する一考察—木製シャブティを中心として」『エジプト学研究』17号 148-175頁。
- Miyake, Y. 2011 2009 Salat Camii Yanı Kazıları (Diyarbakır İli, Bismil İlçesi). 32. *Kazı Sonuçları Toplantısı* 3. Cilt: 282-293.
- 宮下佐江子 2010 「東アジアの腰袋（佩囊）—東西交流の視点から」*Bulletin of Ancient Orient Museum* 29-30: 163-.
- 宮下佐江子 2011.2 「マリの「パン型」」『ORIENTE』42号 28-30頁 古代オリエント博物館。
- Milwright, M. 2011.3 Raqqa before Raqqa Wares: Toward a Typology of Ornament in the Ceramic Workshops of Early Abbasid Tal Aswad. *Al-Rāfidān* 32: 232-245.
- 山花京子 2011.9 「カバ像」『News from EurAsia 横浜ユーラシア文化館ニュース』15号 2-3頁 横浜ユーラシア文化館。
- 山花京子（監修）2011.10 『古代エジプト 青の秘宝ファイアンス』横浜ユーラシア文化館特別展図録 横花ユーラシア文化館。
- 山花京子（監修）2011.11 『悠久のナイルと人々—鈴木八司古代エジプトコレクション展』東海大学附属図書館・東海大学校地内遺跡調査団
- 山藤正敏 2011.5 「前期青銅器時代パレスティナ地域における「都市化」研究—推移・論点・方向性—」『文化財の壺』2号 12-21頁 文化財方法論研究会。
- Yoshimura, S. and N. Kawai 2010 Report on the Waseda University Excavations at North Saqqara, 2009-I. *Annales du Service des Antiquités de l'Égypte* 84: 467-483.
- Yoshimura, S. and N. Kawai 2011 Le Monument du Prince Khaemouaset. *Dossiers d'Archéologie* 20: 14-15.
- Rousset, M.-O. 2011.3 La céramique abbasside d'al-Hadir. *Al-Rāfidān* 32: 214-231.
- 和田久彦 2011.8 「北西シリアの鉄器時代の住居と集落に関する一考察—テル・マストゥーマの遺構をもとにして—」『古代』125号 47-68頁。